

# 2024年9月の安全衛生防災カレンダー

## 1日～8日

- 5月1日～9月30日◎STOP!熱中症クールワークキャンペーン(厚生労働省)
- 6月1日～9月30日◎夏の省エネキャンペーン(経済産業省)
- 8月1日～9月10日◎墜落・転落災害撲滅キャンペーン(建設業労働災害防止教会)
- 8月30日～9月5日○防災週間(内閣府ほか) ○建築物防災週間(国土交通省)
- 9月1日～30日◎全国労働衛生週間準備期間(厚生労働省、中災防) ◎職場の健康診断実施強化月間(厚生労働省、中災防)
- ◎食生活改善普及運動(厚生労働省) ◎障害者雇用支援月間(厚生労働省)
- ◎健康増進普及月間(厚生労働省) ◎心とからだの健康推進運動(全国労働衛生団体連合会)
- ◎がん征圧月間(厚生労働省ほか) ◎粉じん障害防止総合対策推進強化月間(厚生労働省)
- ◎全国作業環境測定評価推進運動(日本作業環境測定協会) ◎船員労働安全衛生月間(国土交通省)
- ◎オゾン層保護対策推進月間(環境省ほか) ◎自賠責制度広報・啓発期間(国土交通省)
- 9月1日～10月31日◎自動車点検整備推進運動強化月間(国土交通省) ◎秋の農作業安全確認運動(農水省)
- 1日(日)・防災の日(内閣府ほか)伊勢湾台風が来襲した翌年の1960(昭和35)年に閣議決定
- ・省エネの日(毎月1日、資源エネルギー庁)
  - ・日本赤十字社が「愛の献血運動」を始める1961(昭和36)
  - ★関東大震災 関東地方でM7.9の大地震、死者不明10万人以上、焼失家屋44万戸以上1923(大正12)
  - ★新宿歌舞伎町の雑居ビルで火災 ゲーム店と飲食店の客・従業員44人死亡、死因の大半が一酸化炭素中毒 東京・新宿2001(平成13)
- 2日(月)★高速道路工事現場で、架設中の橋桁が落下、3人死亡、4人負傷 北海道・千歳1997(平成9)
- 3日(火)・秋の睡眠の日(精神・神経科学財団・日本睡眠学会、3月18日：春の睡眠の日)
- ★ジェーン台風が上陸、関西地方に大被害、死者不明508人1950(昭和25)
  - ★製鉄所のコークスオープンガスタンクが爆発、8時間炎上、15人重軽傷 愛知・東海2003(平成15)
  - ★製鉄所のコークス炉に付随する石炭塔で発煙の原因調査中爆発、15人重軽傷 愛知・東海2014(平成26)
  - ★高所作業車で街路樹の剪定作業中に高圧電線で感電、1人死亡、1人意識不明 新潟・新潟市2022(令和4)
- 4日(水)・関西国際空港が開港 世界初の本格的海上空港1994(平成6)
- ★清掃センター汚水処理場で硫化水素中毒、5人死亡 滋賀・彦根1980(昭和55)
  - ★三宅島の噴火により火山性ガスが噴出、全島民が島外に避難2000(平成12)
  - ★東京の代々木公園で採取した蚊からデング熱ウィルス検出2014(平成26)
- 5日(木)・石炭の日(グリーン・コールデー)(資源エネルギー庁)
- ★第2宮古島台風で最大瞬間風速85.3m/sを記録、家屋2,848戸全壊 沖縄・宮古島1966(昭和41)
  - ★東海環状自動車道の高架橋建設現場で作業用つり足場が崩れ、墜落して2人死亡 愛知・豊田2003(平成15)
  - ★フォークリフトで搬入中のボイラーが倒れ、2人が下敷きになって死亡 新潟・見附2006(平成18)
  - ★踏切で電車が大型トラックと衝突し脱線トラックが炎上し運転手が死亡、電車乗客ら77人重軽傷 神奈川・横浜2019(令和元)
  - ★山陽自動車道尼子山トンネル車両火災トンネル内で車両33台が絡む火災が発生し、8人負傷 兵庫・相生2023(令和5)
- 6日(金)★阿蘇山中岳が噴火、噴石で観光客3人死亡、16人負傷1979(昭和54)
- ★北海道胆振地方でM6.7の地震、厚真町で震度7、大規模な土砂崩れ、全道停電、41人死亡2018(平成30)
  - ★樹脂製造工場パラジクロロベンゼンのタンク溶接作業中爆発、2人死傷 茨城・神栖2018(平成30)
- 7日(土)・白露(はくろ)24節気のひとつ、白く露の結び始める頃、秋の気配が見え始める時分
- ★「平成16年台風18号」長崎県から北海道西海上に北上、死者不明46人、負傷1,399人、家屋倒壊約6万5千棟2004(平成16)
  - ★工業用水管補強工事現場で、配管内の作業員2人がCO中毒で死亡 三重・四日市2008(平成20)
  - ★建造船の船底部で鉄板を溶断するためガスバーナーを点火した際爆発、2人重傷 山口・下関2017(平成29)
  - ★電子部品等工場でシランガスプラントの配管解体作業中火災、5人重軽傷の火傷 新潟・糸魚川2020(令和2)
- 8日(日)○救急医療週間(～14日、救急の日を含む日曜～1週間、消防庁、厚生労働省)
- ★造船所で点検中のタンカーの機関室付近が爆発 廃油にバーナーの火が引火、3人死亡、7人負傷 静岡・清水1999(平成11)
  - ★タイヤ製造工場火災、工場約4万㎡を焼き 46時間後に鎮火、周辺住民が避難 栃木・黒磯2003(平成15)

## 9月の安全衛生歳時記

## 9日~19日

- 9日(月)・救急の日(消防庁、厚生労働省)  
・東北自動車道が首都高に連結、青森~八代(熊本)間約2,000kmが自動車専用道路で繋がる 1987(昭和62)  
★大阪道頓堀の中座解体工事中、ガスに引火して爆発全焼、隣接の店舗にも延焼、4人重軽傷 2002(平成14)  
★「令和元年房総半島台風」5日に発生した台風15号が千葉県を中心に、死者9人、建物倒壊など大きな被害 2019(令和元)
- 10日(火)○自殺予防週間(～16日、厚生労働省) ・世界自殺予防デー(WHO)  
・製品安全点検日(毎月第2火曜、経済産業省)  
・下水道の日(国土交通省)  
・LPガス消費者保安デー(毎月10日、高圧ガス保安協会)  
★「鳥取地震」鳥取地方を中心に被害大、死者1,083人、負傷者3,259人、家屋被害約13,500棟 1943(昭和18)  
★魚津市大火 台風の通過に伴う強風、フェーン現象により市内中心地延焼、死者5人、1,755戸焼失 富山・魚津 1956(昭和31)  
★工事現場で鉄管打込み作業中、鉄管が高圧線に触れ4人感電 1人死亡、3人重傷 東京・八王子 2016(平成28)  
★アパート解体現場で、発電機の排ガスによるCO中毒、2人死亡、1人重体 東京・世田谷 2019(令和元)
- 11日(水)★造船所で修理中のタンカーの船倉で爆発、6人死亡、8人負傷 広島・呉 1982(昭和57)  
★「東海豪雨」東海地方で記録的豪雨 三重県宮川村で728ミレを記録、浸水6万戸以上、新幹線74本ストップ、最大22時間遅れ 2000(平成12)  
★リサイクル工場でタイヤを溶かす溶融炉が爆発、1人死亡 2人重軽傷 千葉・市原 2003(平成15)  
★奥穂高岳付近の山中で、遭難した登山者を救助中の防災ヘリが墜落炎上、3人死亡 岐阜・高山 2009(平成21)  
★食品リサイクル会社で作業員が大型ミキサーに転落、救助の作業員共2人死亡 埼玉・所沢 2019(令和元)  
★造船所でクレーン台船を係留する作業中の汽船が浸水し転覆、作業員2人死亡 広島・大崎上島 2023(令和5)
- 12日(木)・水路記念日(海上保安庁)  
★桜島が噴火、溶岩で九州と陸続きに 1476(文明8)  
★市の再開発事業の工事現場で大型クレーンが約7m下に落下 運転者が重体 福岡・福岡市 2020(令和2)
- 13日(金)・世界の法の日 1965(昭和40)年、ワシントンで開催された「法による世界平和についての国際会議」を記念  
★大手パソコン通信で日本初のコンピューターウイルスが発見される 1988(昭和63)  
★タンカー内で濃硫酸を浴びて2人重軽傷 濃硫酸を別のタンクに移す際ホースが抜け 青森・八戸 2005(平成17)  
★工場ドリルを付けた工作機械で作業中、ドリルの刃が右手に当たり作業員が重傷 群馬・富岡 2022(令和4)
- 14日(土)★パーキングエリア側道の工事現場で作業員が足場(高さ約7m)から転落して死亡 福島・いわき 2020(令和2)
- 15日(日)○老人週間(～21日、厚生労働省) ・老人の日(厚生労働省)  
・心・血管病予防デー(敬老の日の前日、一般社団法人日本心・血管病予防会)  
・シルバーシート記念日 1973(昭和48)年、東京・中央線の電車で初めてシルバーシート(現在の優先席)が登場  
★「カスリーン台風」関東・東北地方などを直撃、利根川決壊などで死者不明1,930人、被災家屋13,500棟以上 1947(昭和22)  
★「アイオン台風」関東・東北地方に襲撃、12万戸浸水、死者不明838人 1948(昭和23)  
★大人7人・子供5人を乗せたヨットが横風を受けて転覆し死者不明7人 救命胴衣着用等が不徹底 滋賀・志賀 2003(平成15)  
★高圧送電線の鉄塔が地上44mで折れて落下、塔上の4人が転落し2人死亡、2人重傷 福井・美浜 2008(平成20)  
★食品香料製造工場でコーヒー香料製造中に一酸化炭素中毒で死者1人、重軽傷2人 群馬・板倉 2022(令和4)
- 16日(月)・敬老の日(9月第3月曜)  
・オゾン層保護のための国際デー(国連) 1987年、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書を採択した  
★第2室戸台風により関西・北陸地方に被害大、死者不明202人、被害家屋98万戸 1961(昭和36)
- 17日(火)・世界患者安全の日(厚生労働省)  
★枕崎台風が西日本を襲撃、死者不明3,756人 1945(昭和20)  
★採石場で粉碎された石を運ぶコンベヤーに巻き込まれて作業員が死亡 静岡・浜松 2019(令和元)
- 18日(水)・二輪・自転車安全日(毎月18日、警視庁)  
★化学工場でコンプレッサーが爆発、3人死亡、6人負傷 富山・高岡 1968(昭和43)  
★改装工事中のビル地下室でガス爆発、3人死亡、6人重軽傷 漏れたガスに送風機の火花が引火 東京・北区 2004(平成16)  
★建設中の橋桁が落下、4人が投げ出され1人死亡、3人重軽傷 山口・下関 2007(平成19)  
★水産加工工場で、魚を洗った汚水タンクに入った作業員2人が硫化水素中毒で死亡 佐賀・唐津 2013(平成25)  
★小学校の調理室地下で爆発、女性調理員死亡、児童ら7人負傷 噴霧式殺虫剤に着火 青森・黒石 2015(平成27)  
★大型コンサート会場の解体中に鉄骨が落下、下敷きの作業員2人重傷、他5人負傷 福岡・福岡 2023(令和5)
- 19日(木)・食育の日(毎月19日、内閣府)  
★台風で川が氾濫、放水路隧道建設現場に大量の水が流入、7人死亡 千葉・松戸 1991(平成3)

## 9月の安全衛生歳時記

## 20日~30日

20日(金)○動物愛護週間(～26日、環境省)

- ・空の日 1911(明治44)年、山田式飛行艇が東京上空を初飛行(国土交通省) ○空の旬間(～30日、国土交通省)
- ・マイカーチェックデー(毎月20日)
- ・新丹名トンネル(東海道新幹線)が貫通 1962(昭和37)

★電車が踏切で大型トラックと衝突 脱線したところに気動車が衝突、8人死亡、154人負傷 鹿児島本線 香椎・箱崎間 1963(昭和38)

★JR駅内で台風被害点検中、点検用デッキの床が抜けて作業員が線路に転落、死亡 静岡・静岡市 2022(令和4)

21日(土)○秋の全国交通安全運動(～30日、内閣府ほか)

- ・少年を非行から守る日(毎月第3土曜、警視庁)
- ・国連・国際平和デー(国連)
- ・世界アルツハイマーデー(国際アルツハイマー病協会)

★室戸台風が京阪地区を直撃、死者不明3,036人、全半壊9万3千戸 1934(昭和9)

★疑惑の牛、狂牛病と断定 農水省が疑いがあると発表した乳牛が狂牛病と断定された、東アジアで初めて 2001(平成13)

22日(日)・秋分の日

★台風13号が近畿地方を中心に大被害、死者不明478人 二条城破損、三重の養殖真珠全滅 1953(昭和28)

★第3宮古島台風で最大瞬間風速79.8mを記録、12人死亡、全半壊約5,700戸 1968(昭和43)

★製鉄所でコンベヤー修理中、ゴンドラが滑落して1人死亡、4人重軽傷 千葉・千葉 2011(平成23)

23日(月)★浅間山が大噴火、東京、埼玉などに降灰、登山者1人死亡 1950(昭和25)

★鋳鋼工場で、クレーンで吊った容器を傾けた際溶融鉄がこぼれ、3人重軽傷 北九州・若松 2009(平成21)

★食品加工会社新工場建設中、搬入中のスチームボイラーが倒れ、作業員が下敷きで死亡 茨城・八千代 2021(令和3)

24日(火)○結核予防週間(～30日、厚生労働省)

○環境衛生週間(～10月1日、環境省)

・清掃の日 1971(昭和46)年、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」が施行されたのを記念

★八丈島南方で海底火山「明神礁」が噴火 海上保安庁の観測船「第5海洋丸」が沈没、乗組員31人全員死亡 1952(昭和27)

★歯科医院でLPガスが爆発、6人死亡、13人負傷、3棟焼損 神奈川・藤沢 1973(昭和48)

★京急本線土砂崩れ脱線事故 追浜～京急田浦駅間で土砂崩れ、特急列車が乗り上げて脱線 神奈川・横須賀 2012(平成24)

25日(水)・国内線で初めてのジェット機運行 日航が東京・札幌間、コンベア880 1961(昭和36)

★ゴム工場で接着剤に引火爆発、17人死亡、7人負傷 兵庫・神戸 1963(昭和38)

★「山梨・足和田土石流災害」2つの台風が同日に上陸、記録的な大雨で土石流発生 死者不明94人 山梨・足和田 1966(昭和41)

★新築工事中のショッピングセンターで火災、6人死亡、13人負傷 大阪・高槻 1973(昭和48)

★化学工場のシュガーエステル製造設備で溶媒回収缶が爆発、2人死亡 三重・四日市 1987(昭和62)

★土石流災害の土砂がれき撤去と行方不明者捜索中に重機ごと川に転落、作業員が死亡 静岡・熱海 2021(令和3)

26日(木)★洞爺丸台風、青函連絡船「洞爺丸」転覆による死者不明1,139人含め死者不明1,761人 1954(昭和29)

★伊勢湾台風が紀伊半島に上陸、東海地方に空前の大被害、死者不明5,098人 1959(昭和34)

★北海道 釧路、日高を中心にM8の地震、苫小牧市の製油所の原油貯蔵タンクが炎上 2003(平成15)

★風力発電施設工事現場でアーム付き重機が倒れ、作業員が下敷きになり死亡 北海道・豊富 2019(令和元)

27日(金)・横浜港口に横浜ベイブリッジが開通 着工から9年目 1989(平成1)

★下水マンホール内壁のひび割れに接着材吹き付け中爆発、2人重傷の火傷 鳥取・鳥取 2003(平成15)

★長野県岐阜県の県境、御嶽山(標高3,067m)が噴火、58人死亡、5人不明、69人重軽傷 2014(平成26)

★工場のフィルム製造機械から出火、初期消火中の2人が死亡、1人喉に火傷 愛知・犬山 2020(令和2)

28日(土)・世界狂犬病デー 狂犬病ワクチンを開発したパスツールの没日

・青函トンネルで初の試運転列車が走った 1987(昭和62)

★製油所のナフサタンクが炎上 2日前の地震で損傷したタンクを消火剤で覆う作業中、44時間後鎮火 北海道・苫小牧 2003(平成15)

29日(日)・接着の日(日本接着剤工業会、9と29で「くつつく」の語呂合わせ)

★化学工場でアクリル酸タンクが爆発炎上、消防士1人死亡、従業員ら36人重軽傷 兵庫・姫路 2012(平成24)

★工事現場で金属パイプ(重さ約14kg)が約16mの高さから落下、歩行者に当たり重傷 兵庫・神戸 2021(令和3)

30日(月)・クレーンの日(日本クレーン協会、厚生労働省)

★ゴム加工工場で、接着剤のシンナーに引火爆発、6人死亡、4人負傷 東京・江戸川 1968(昭和43)

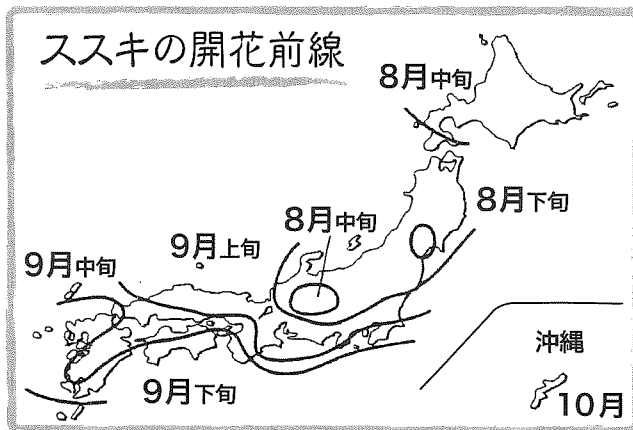
★東海村の核燃料加工会社で臨界事故、放射線を大量に浴びて2人死亡、被爆多数 茨城・東海 1999(平成11)

※「事故災害事例」は、国内の重大な事故・労災・気象災害等の中から選んでいます。

# 9月の気象と防災管理

	日の出・日の入		気温 (°C)	湿度 (%)	日照時間 (h)
	日の出	日の入			
北海道 (札幌)	5:14	17:45	18.6	71	159.3
青森	5:18	17:46	19.9	76	162.4
岩手 (盛岡)	5:16	17:44	19.3	80	128.8
宮城 (仙台)	5:18	17:45	21.2	78	128.0
秋田	5:20	17:48	21.0	74	160.8
山形	5:20	17:47	20.6	77	136.6
福島	5:20	17:46	21.6	76	122.9
茨城 (水戸)	5:20	17:46	22.1	81	138.7
栃木 (宇都宮)	5:23	17:48	22.4	77	119.8
群馬 (前橋)	5:26	17:51	22.9	72	134.9
埼玉 (熊谷)	5:24	17:49	23.3	75	131.6
千葉 (銚子)	5:22	17:47	23.4	84	159.0
東京	5:24	17:48	23.3	75	126.7
神奈川 (横浜)	5:24	17:49	23.7	76	141.2
新潟	5:26	17:52	22.5	73	156.2
富山	5:33	17:59	22.8	78	144.2
石川 (金沢)	5:36	18:01	23.2	73	153.6
福井	5:38	18:02	23.1	76	151.2
山梨 (甲府)	5:28	17:53	23.2	71	150.9
長野	5:29	17:55	21.0	74	151.2
岐阜	5:36	18:00	24.5	70	163.7
静岡	5:29	17:53	24.5	75	157.3
愛知 (名古屋)	5:35	17:59	24.5	70	159.6
三重 (津)	5:37	18:01	24.4	72	165.3
滋賀 (彦根)	5:39	18:04	23.6	75	162.9
京都	5:40	18:04	24.4	67	142.7
大阪	5:41	18:05	25.2	67	161.6
兵庫 (神戸)	5:42	18:06	25.4	67	163.9
奈良	5:40	18:04	23.2	76	152.8
和歌山	5:42	18:06	24.9	69	173.2
鳥取	5:46	18:10	22.9	77	143.4
島根 (松江)	5:50	18:15	22.9	79	146.2
岡山	5:47	18:11	23.9	71	157.5
広島	5:53	18:17	24.7	68	167.3
山口 (下関)	5:57	18:21	24.6	73	161.9
徳島	5:45	18:08	24.8	72	162.0
香川 (高松)	5:47	18:11	24.7	72	159.6
愛媛 (松山)	5:52	18:16	24.6	70	164.3
高知	5:49	18:12	25.0	74	162.0
福岡	6:02	18:25	24.7	73	164.7
佐賀	6:02	18:25	24.5	72	174.1
長崎	6:04	18:27	24.9	73	172.2
熊本	6:01	18:23	25.2	71	176.4
大分	5:57	18:20	24.2	74	151.5
宮崎	5:58	18:20	24.7	80	156.5
鹿児島	6:02	18:24	26.3	72	176.4
沖縄 (那覇)	6:15	18:34	27.9	75	181.3

※日の出・日の入：15日における時刻（国立天文台）  
 ※気温：1991～2020年の平均値（理科年表）



●9月から10月にかけて、強い勢力を保ったまま日本を縦断する台風が多くなります。過去に大きな災害をもたらした台風はこの時期に多く発生しています。近年では、令和元年9月の台風15号が関東各地で記録的な暴風雨となり、千葉県を中心に大きな被害をもたらしました。また、令和4年の9月は接近した台風の数で6個で、過去30年で最多でした。

9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」です。気象庁や自治体の最新情報に注意して、職場や家庭の防災対策の見直しと強化を図り、早期の対応を心がけましょう。

●9月は夏から秋へと季節が切り替わる時期ですが、近年では夏の暑さが続く傾向も見られ、引き続き暑さ対策も必要となるでしょう。月の前半は日中の暑さが続き、夏期特有の事故・災害が引き続き発生しがちです。作業前点検などを徹底し、発生を防止しましょう。

後半には気温も徐々に下がってきますが、暑さがぶり返して30℃以上の真夏日となることもあり、体が気温の変化に対応できず、慢性的な疲労感を感じたり体調を崩しやすくなります。また、朝晩と日中の寒暖差も大きくなってきました。健康管理には十分に留意しましょう。

9月の安全衛生歳時記

# 9月1日~30日 作業環境測定・評価推進運動

## 自律的管理の基本は作業環境測定 職場を評価しみんなで改善

### GHSに基づく分類・ラベル表示

飲んだり、触ったり、吸い込んだりすると有害なもの

呼吸器感受性、生殖細胞変異原性  
発がん性、生殖毒性  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）  
特定標的臓器毒性（反復ばく露）  
吸引性呼吸器有害性

金属腐食性物質、  
皮膚腐食性  
眼に対する重篤な損傷性

急性毒性（区分4）、  
皮膚刺激性  
眼刺激性、皮膚感受性  
特定標的臓器（区分3）  
オゾン層への有害性

急性毒性  
（区分1~区分3）

爆発しやすいもの、火がつきやすいもの

可燃性又は引火性ガス（化学的に不安定なガスを含む）  
エアゾール、引火性液体、可燃性固体  
自己反応性化学品、自然発火性液体・固体  
自己発熱性化学品、水反応可燃性化学品、  
有機過酸化物

爆発物、  
自己反応性化学品  
有機過酸化物

高圧ガス

支燃性又は酸化性ガス  
酸化性液体・固体

水環境に  
害をなすもの

水生環境有害性

9月1日から30日まで、「令和6年度全国作業環境測定・評価推進運動」が実施されます。

この運動は、公益社団法人日本作業環境測定協会が、作業環境測定・評価の適切な実施を推進することにより、事業場の労働衛生水準の向上を図ることを目的として、厚生労働省、中央労働災害防止協会ほかの後援のもとに昭和62年から実施しており、今年で第38回を迎えます。

近年、事業場に新たな原材料、化学物質等が早いテンポで導入され、本年4月から、化学物質の自律的管理にかかる関係省令の規定が施行されました。これは、これまで個別の省令で規制されてきた特定化学物質、有機溶剤、鉛、粉じん等以外で、GHS（国連勧告による化学品の分類や表示基準）で危険有害物に該当するとみなしたすべての化学物質について、これらを取り扱う作業のリスクアセスメントと労働者のばく露の最小化を事業者が義務付けるものです。

これらの自律的管理の対象は、本年4月1日現在で908物質ですが、この数年で約2900物質に上ることが予定されています。

重要なのは、「危険有害性が不明であること」＝当該化学物質が安全又は無害」ということではないことを認識し、危険有害性が判明していない化学物質を安易に用いないということです。

「全国労働衛生週間準備期間」でもあるこの機会に、職場の化学物質等の使用実態を総点検して作業環境測定・評価やリスクアセスメントを適切に実施し、作業環境や作業方法等の改善に取り組みしましょう。



9月の安全衛生歳時記

9月1日~30日

# 全国労働衛生週間準備期間

～推してます みんな笑顔の 健康職場～

## 《準備期間中に実施する事項》

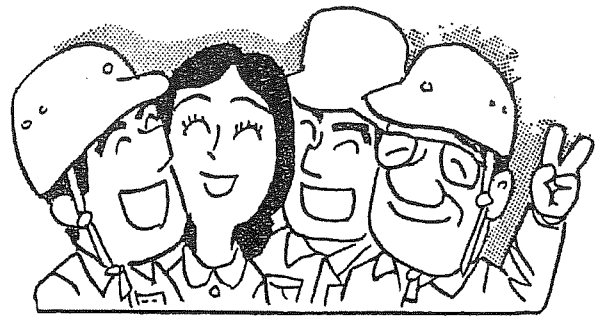
### 1 重点事項

- (1) 過重労働による健康障害防止のための総合対策の推進
- (2) 「労働者の心の健康の保持増進のための指針」等に基づくメンタルヘルス対策の推進
- (3) 転倒・腰痛災害の予防及び「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」に基づく健康づくりの推進
- (4) 化学物質による健康障害防止対策に関する事項
  - ① 中小規模事業場を中心とした特定化学物質障害予防規則等の特別規則の遵守の徹底（非製造業種を含む）、金属アーク溶接作業等における健康障害防止対策の推進
  - ② 製造者・流通業者が化学物質を含む製剤等を出荷する際及びユーザーが購入した際のラベル表示・安全データシート（SDS）交付の状況の確認
  - ③ SDS等により把握した危険有害性に基づくリスクアセスメントの実施とその結果に基づくばく露濃度の低減や適切な保護具の使用等のリスク低減対策の実施
  - ④ ラベルや SDS の内容やリスクアセスメントの結果について労働者に対する教育の実施
  - ⑤ 危険有害性等が判明していない化学物質を安易に用いないこと。また、危険有害性が不明であることを意味するものではないことを踏まえた取扱物質の選定、ばく露低減措置及び労働者に対する教育の推進
  - ⑥ 皮膚接触や眼への飛散による薬傷等や皮膚からの吸収等を防ぐための適切な保護具や汚染時の洗浄を含む化学物質の取扱い上の注意事項の確認
  - ⑦ 特殊健康診断等による健康管理の徹底
  - ⑧ 塗料の剥離作業における健康障害防止対策の徹底
- (5) 石綿による健康障害防止対策に関する事項
- (6) 受動喫煙対策に関する事項
- (7) 治療と仕事の両立支援対策の推進に関する事項

### 2 労働衛生3管理等の推進等

- (1) 労働衛生管理活動の活性化（リスクアセスメント、労働安全衛生マネジメントシステムの確立等）
- (2) 作業環境管理の推進（作業環境測定とその結果の周知、作業環境改善、局所排気、清潔保持、換気、照明等）
- (3) 作業管理の推進（自動化、省力化等による作業負担の軽減、適切な保護具等の選択、使用、保守管理等）
- (4) 健康管理の推進（「職場の健康診断実施強化期間」として、健康診断の実施、事後措置等）
- (5) 労働衛生教育の推進（雇入れ時教育、有害業務従事者の特別教育等）

（令和6年度全国労働衛生週間実施要綱より抜粋：詳細は厚生労働省HPに）



「推してます みんな笑顔の 健康職場」をスローガンとして、10月1日から7日は「全国労働衛生週間」で、そして9月1日から30日は、その準備期間です。

全国労働衛生週間は、事業場における自主的な労働衛生管理活動を通じて、労働者の健康の確保と快適な職場環境の形成を図ることを目的として昭和25年から実施されており、

今年で75回目を迎えます。

厚生労働省では、「令和6年度全国労働衛生週間実施要綱」において、9月を「職場の健康診断実施強化月間」と位置づけるとともに、準備期間中に左記の事項等について総点検を実施して、改善を要する事項について計画的・継続的に取り組み、労働衛生水準の向上を図るよう呼びかけています。

9月の安全衛生歳時記

9月21日~30日

# 秋の全国交通安全運動

## 交通ルールの遵守と正しいマナーの実践を

### 事業所等職域における実施事項

- 1 事業所等の業務形態に対応した交通安全教室等の開催
- 2 飲酒運転・無免許運転・妨害運転等による交通事故の実態及び悪質性・危険性の周知
- 3 横断歩道等における歩行者等優先義務の徹底と歩行者等に対する思いやりのある模範的な運転の実践
- 4 交通法令を遵守し、体調面も考慮した安全運転の励行
- 5 後部座席を含めた全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底
- 6 自転車・特定小型原動機付自転車利用者等に対するヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底
- 7 社内における広報啓発活動や職員による地域の交通安全啓発活動への参加促進
- 8 安全運転管理者、運行管理者等による交通安全指導の徹底



9月21日(土)から30日(月)までの10日間は「令和6年秋の全国交通安全運動」です。(主催 内閣府・警察庁・都道府県・市区町村ほか)  
また運動期間最終日の9月30日(月)を、「交通事故死ゼロを目指す日」としています。  
「令和6年秋の全国交通安全運動推進要綱」の「全国重点事項」は以下のとおりです。

### ◎全国重点事項

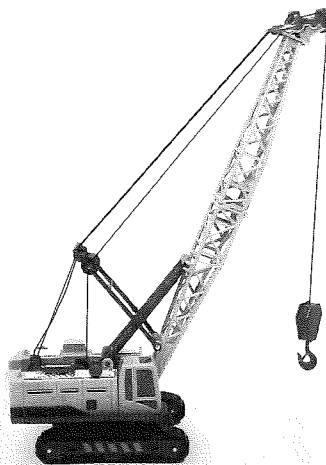
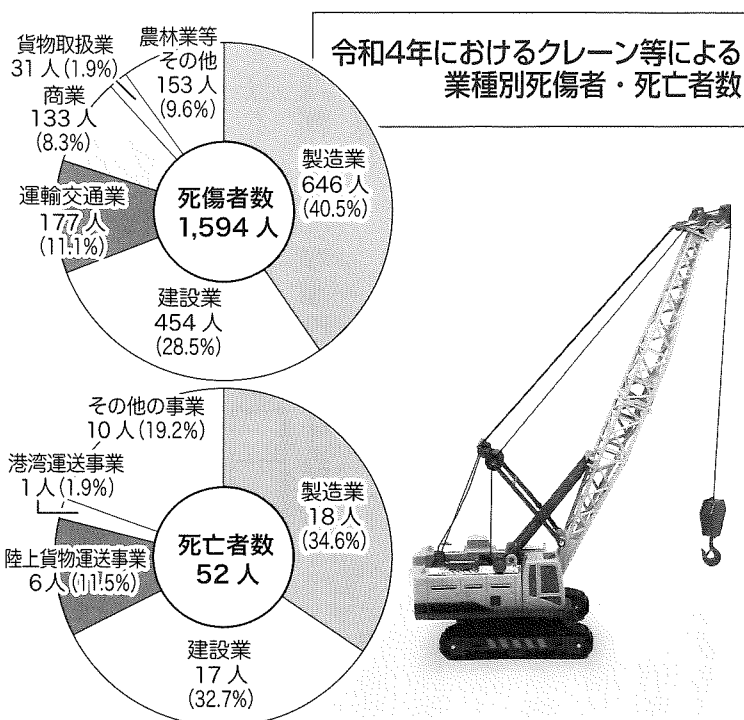
- 1 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- 3 自転車の特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

・ 日没時間が急激に早まる秋口以降は、夕暮れ時や夜間に重大交通事故が、特に歩行者の道路横断中の死亡事故が多発していること。  
・ 飲酒運転や、妨害運転等の悪質・危険な運転による悲惨な交通事故が後を絶たないこと。  
・ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底  
・ 自転車関連の交通事故の割合が増加しているとともに、自転車関連の死亡・重傷事故は、自転車側の多くに法令違反があること。  
事業所等職域における活動は上記の通りです。また、フォークリフト等、作業用車両による構内での事故対策にもあわせて取り組みましょう。

9月の安全衛生歳時記

# 9月30日 クレーンの日

## クレーンで吊るのは荷と責任 重みを感じて安全作業



9月30日は「クレーンの日」です。  
 (主催：日本クレーン協会、ボイラ・クレーン安全協会、後援：厚生労働省)  
 クレーン等に関わる労働災害は、長期的には減少傾向にあり、令和4年における発生状況は、前年比で死傷者数が50人減少、死亡者数では2人減少となっています。しかし前々年と比較すると共に多くなっております。今なお多くの被害が発生し続けていることを示しています。

令和4年の、クレーン等による死傷災害、死亡災害をそれぞれ業種別にみると、製造業が最も多く、次いで建設業となっており、共にこの2業種で全体の約7割を占めています(上グラフ)。次いで運輸・運送関係となっています。

クレーン等による労働災害を防止するには、

- ◆ 定期自主検査及び作業開始前点検を確実に実施し、異常個所の補修等を徹底する。
- (リース機械についても確認することが重要)
- ◆ クレーン運転、玉掛け作業は有資格者が行う。
- ◆ 適正な作業マニュアルを作成して作業者に周知・徹底し、クレーン等の運転及び玉掛け作業を安全・確実に進める。

ことなどを必ず実行することが必要です。

その他、リスクアセスメントを実施して、リスクの高い箇所や作業を改善すること、作業前のミーティングやKYK(危険予知活動)などの日常活動を確実に励行すること、作業中は指差し呼称で安全を確認することなどが重要です。

「クレーンの日」を契機に、クレーン等による事故・災害防止対策を見直して徹底しましょう。